

日整全国少年柔道大会長崎県大会

大会感染防止対策

【会場の入場について】

※会場の入場、再入場の際は、手指の消毒を徹底する。入場口に消毒液を設置

※入場時に検温を実施する。 37.0度以上ある方は入場不可（選手は欠場）

※参加者は、登録した選手・監督1名・コーチ1名、大会役員・審判員・補助員等のみとする。

（会場は、5月現在まで入場制限があり、保護者などの応援は不可…無観客で実施）

※試合に参加する選手・監督・コーチは、直前7日間の「健康調査票」を記入し、当日大会受付で提出すること。安全確保のため、提出がなければ大会への参加を取り消す場合がある。

※会場内では必ずマスクを着用すること。受付や着替え時等、競技を行っていない際や会話を
する場合はマスクを着用。しかし、高温多湿の環境で熱中症などの危険性があると判断した
場合は、マスクを外すよう指導すること。

※“三つの密”「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人の距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」
をはじめとした基本的な感染防止対策を各自でしっかり行うこと。

【試合（競技）について】

※試合中の選手は、マスクを外すが、役員・審判員・補助員は、マスクを着ける。

※試合中、監督・コーチのアドバイスは、マスクを着けた状態で「待て」の間に行うこと。

※ハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。

※原則、紅白帯の貸し出しは行わない。必ず、各自チームで準備すること。

※給水は、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有はしないこと。タオルも同様。

※畳及び副審椅子の消毒は、定期的に会場補助員が行う。

【その他】

※過去10日以内に入国制限・入国後の観察期間を必要とされている地域への、渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は、自主的に参加（出場）を見合わせることを。

※大会終了後、10日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。また、参加者名簿を関係機関に提出する場合がある。